

ご飯を炊く

対象学年 小学校中学年	単元名 川越市の人々の生活のうつりかわり
基礎・基本となる内容	道具の様子や使われ方、道具の移り変わりを調べるとともに、人々の生活もどのように変わってきたかを考える。
活用できる資料等	釜と電気釜
資料の解説	昭和38年製造の東芝製電気釜。炊き上がるとスイッチが切れるタイプの電気釜であるが、このころはまだ保温の機能がなく、おひつやジャーに炊き上がったご飯を移し変えて使用していた。
展開例 <p>おばあちゃんが子どものころは、お釜を使ってご飯を炊いていました。ご飯を炊くには、まず何かからはじめますか。次に何をしますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ かまどにまきをくべて火をおこすなど、作業の手順を追って考えさせる。丸底、つば、釜のふたにみる工夫などにも気付かせる。 <p>電気釜を使う場合は、まず何かからはじめますか。次にどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 釜の場合との違うところに気付かせていく。 <p>釜を使っていた暮らしと電気釜を使うようになった暮らしで、「こんなところが違ってきた」と気付いたことをまとめましょう。</p>	 
評価	道具の使い方や、釜から電気釜に変わること、暮らしがどのように変わっていくかを考えることができる。(思考・判断)